

2024年3月期 中間決算について

2023年 11月7日
JFE鋼板株式会社

2023年9月中間期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(百万円未満切捨て)
(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		経常利益	特別損益	当期純利益
	百万円	%			
2023年9月中間期	37,099	△ 7.3	2,314	-	1,557
2022年9月中間期	40,036	26.6	3,125	-	2,166

注 連結子会社数 2023年9月中間期 5社、2022年9月中間期 5社

(百万円未満切捨て)
(%表示は対前年同期増減率)

(参考)単体経営成績

	売上高		経常利益	特別損益	当期純利益
	百万円	%			
2023年9月中間期	32,441	△ 8.3	2,210	-	1,568
2022年9月中間期	35,361	27.6	2,724	-	2,022

【当中間期の概況と損益】

当中間期について、国内薄板建材需要は、非住宅分野の大型物件が堅調な一方で、中小物件や住宅分野は人手不足や物価高騰による遅れ・先送り・見直しにより、厳しい状況が続きました。この様な状況で、当社の販売数量が大幅に減少した影響等により、連結売上高は37,099百万円(前年同期比▲2,937百万円、▲7.3%)となりました。

連結損益は、製造コストダウン等による収益改善効果はありましたが、販売・生産数量の落ち込みやエネルギー価格上昇に加えて在庫評価益が減少した影響が大きく、経常利益は2,314百万円(前年同期比▲811百万円)、当期純利益は1,557百万円(前年同期比▲609百万円)となりました。

【当期の見通し】

国内薄板建材需要は、非住宅分野の中小物件や住宅分野の見通しが依然厳しく、先行きの不透明感が強くなっています。また、過去と比べると高い物価水準が継続することが想定されるため、鋼板市況および需要動向に対する一層の注視が必要であると認識しています。

このような経営環境において以下の施策を実施し、収益力向上を目指します。

- 1) カラー鋼板、特に当社が力を入れている環境負荷の低いクロメートフリー鋼板とともに、当社の独自技術製品で曲げ加工部の耐久性を向上させる「ガルフレックス®」も、積極的に販売活動を展開します。
- 2) 品質・操業安定化、カラー鋼板の生産性向上、依然高い価格水準にある原材料・エネルギーの使用削減などの継続した合理化とともに、コスト上昇が懸念される物流2024年問題に対し、積載率向上・出荷量平準化や納入条件緩和へのご協力をお願い等にも取り組みます。
- 3) お客様には当社の状況にご理解いただき、製品価値や原料・エネルギー・物流等の物価水準に見合って再生産可能な適正価格の実現を目指します。

以上